

日交研シリーズ A-683

平成 28 年度研究プロジェクト

「地方の生活を支える物流と関連インフラの効率的供給に関する研究」

刊行：2017 年 4 月

地方の生活を支える物流と関連インフラの効率的供給に関する研究

Study on Efficient Supply of the Good Transport and the Related Infrastructure to Sustain Rural Life

主査：寺田 一薫（東京海洋大学）

Kazushige TERADA

要 旨

人口減少下での需要減少に直面しながら、地方交通分野、とくにインフラや運搬具への投資を伴う分野のサービスの供給においては、サービス低下かそれを回避するための政府補助金高騰が避けられなくなっている。とりわけ地方の流通・物流は深刻な問題に直面している。このような状況におかれている住民生活、ならびに港湾、空港、道路等のインフラについて、サービス確保とそのためのインフラ維持のための課題抽出を行う。

「移動販売事業を中心とした買い物弱者対策に関する研究」では、近年深刻な社会問題になりつつある地方部の買い物弱者問題とその解決策について、また「ファジイ概念を用いた地域港湾類型の一考察」および「港湾間競争と容量拡張投資」としてインフラ間競争の問題、「地方空港・中小空港の持続可能性と民営化」としてインフラ民営化問題、「地方部におけるトラック輸送サービスの維持」では、地方部を含め物流の中心を担っているトラック輸送の確保問題を扱った。

後半では関連問題に視野を広げ、「ルーラル地域における生活情報サービスへのアクセスについての研究」では、情報サービスについて扱った。また「インセンティブ設計の視点から見たリスク分担の比較評価方法の提案」では、交通インフラの供給において増加している上下分離方式がサービス供給の効率化や確実なサービス維持につながるかどうかの解明を行った。

キーワード：物流インフラ、港湾、空港、道路交通、民営化、上下分離

Keywords : Good Transport Infrastructure, Port, Airport, Road Transport, Privatization, Separation of Infrastructure and Operation